

第68回 日本人類学会大会

人類学を
発展させるのじゃ。



[公開シンポジウム]

旧石器時代人 から 縄文時代人へ

— 浜北人, 三ヶ日人, 蜷塚貝塚人, そして家康へ —

2014 年 11 月 3 日 (月・祝)

13:30~16:30 (開場 13:00) 【入場無料・予約不要】

アクトシティ浜松 コンgressセンター 41 会議室
静岡県 浜松市中区 板屋町 111-1 (浜松駅隣接)



プログラム

開会の挨拶 諏訪 元 (日本人類学会理事, 東京大学 総合研究博物館)

シンポジウムの趣旨説明 松浦 秀治 (日本人類学会会長, お茶の水女子大学)

浜北人骨と三ヶ日人骨の年代はどのように測定されたか

近藤 恵 (お茶の水女子大学 自然人類学研究室)

骨の形からみた日本列島人 — 旧石器時代人から家康まで —

近藤 修 (東京大学 形態人類学研究室)

日本列島東西の交流 — 遠州地方の人と文化 —

久野 正博 (浜松市博物館 学芸員)

DNAが解明する日本人の形成史 — 旧石器人から徳川家まで —

篠田 謙一 (国立科学博物館 人類研究部)

総合討論 [質疑応答] 竹内 修二 (常葉大学健康プロデュース学部 学部長)

後援者より挨拶 鈴木 敏則 (浜松市博物館 館長)

閉会の挨拶 諏訪 元 (日本人類学会理事, 東京大学 総合研究博物館)

後援 浜松市博物館・浜松市教育委員会

写真提供: 東京大学総合研究博物館 (浜北人骨), 浜松市博物館 (蜷塚人骨),
高柳忠明氏 (根堅遺跡発掘風景)



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

【お問合せ】

第68回 日本人類学会大会 事務局

e-mail: jinrui68@cc.ocha.ac.jp

大会HP: http://www.gakkai.ne.jp/anthropology/68_annual_meeting/

